こまえ市民大学

第464回

死を想うことと 今を生きること

バビルスの『死者の書』に描かれた死後の世界。
(PHOTOGRAPH BY GIANNI DAGLI ORTI/SHUTTERSTOCK)

Death Education
(死への準備教育)

講師 小川かをり さん
早稲田大学教育学部講師

講師から一言

臓器移植法により、脳死は人間の「死」であると定義づけられました。
今の日本社会では尊厳死は可能でも安楽死は許されていません。
このように我々の「死」は社会に規定されています。
しかし、主体として自分の死を考えるとき「生きることの一部としての死」
という、かけがえのない「死」が現れてきます。
古今東西の死への思索や科学的知識を一望して死への思索を深め、
そこから”今を生きること”へと繋げて考察します。

日時:令和7年 10月 4日(土) 午後2時~4時

会場:西河原公民館 2階 学習室1

定員:40名 (事前申し込みが必要です) **受講料:200円** (高校生以下無料)

申込:令和7年 9月3日(水) 午前10時から募集開始

右の二次元コードからWEB申し込みまたは電話・窓口にて

WEB申し込みページ

問い合わせ:西河原公民館 ☎03-3480-3201

休館日(第1・3火曜日、祝日)除く午前9時~午後5時

こまえ市民大学のページ

主催:狛江市教育委員会(狛江市立公民館)
企画・運営:こまえ市民大学運営委員会